

OnAir 3000 / OnAir 1500 ユーザーレポート

株式会社日経ラジオ社 様

OnAir 3000 / OnAir 1500

ラジオNIKKEI

新社屋のスタジオにOnAir 3000 / OnAir 1500を導入



株式会社日経ラジオ社
編成制作局 技師長 兼 編成局次長
高橋 玲王奈

弊社は港区赤坂一丁目にて本社を構え、40年以上に渡り放送して参りました。数年前より地区の再開発計画が持ち上がり、3年程前に計画が本格化され、引っ越しせざるを得ない状況となり、平成25年12月末、港区虎ノ門一丁目に本社機能を移転しました。当然の事ながら旧本社で放送を継続しつつ移転しなければなりません。移転先には全ての放送機器を新設という形で設備計画を検討しました。音声卓については、平成24年5月、大阪支社移転に伴い、弊社では初のデジタル卓を導入し、技術スタッフが居ない大阪支社の制作スタッフにも使い勝手の評判が良かった事、コストパフォーマンス、使用実績、及び同メーカーにすれば1つの音声卓操作を覚えれば、どのスタジオに行っても迷いが生じないということも鑑み、各社検討した結果、スチューダー殿にお願いすることになりました。新本社には大小7つのスタジオを配置することになり、弊社での番組制作内容及びミキサーの配置状況を鑑み、第1～4スタジオにはOnAir 3000、第5～7スタジオはワンマン機能を装備するに適したOnAir 1500を導入しました。

第1スタジオ(生放送・収録対応)

ワイド番組主体に構成

【主要接続機器】

- ・MIC 8本まで対応可
 - ・CD 2台
 - ・CD-MD 1台
 - ・MD(録音用) 1台
 - ・ICレコーダー 3台
 - ・MOレコーダー 1台
 - ・テレホンHYB 2台
 - ・エコーマシン 1台
 - ・音声編集用PC 1台
 - ・番組登録用DAW 1台 等々
- (第1～6スタジオは殆ど同じ機材構成)

第2スタジオ(生放送・収録対応)

スタジオを広く構成し、番組で使用する以外に弊社のスクール事業等に使用しており、PA機能も有します。

第3・4スタジオ(生放送・収録対応)

広さ、構造が同じため、同仕様で構成。

第5・6スタジオ(生放送・収録対応)

ワンマン収録を主体に構成。第5には、旧本社から移設したオープンTRを3台設置し、デジ

タル編集に慣れていない制作者にも対応。

X(第7)スタジオ

マスター内に配置し、緊急・割込み放送に対応し、インプットに割込みマイクの他、第1～6スタジオOUTを接続し、マスター送出機器のトラブルにも対応しています。また、弊社には古いメディアが存在していることもあり、どのようなメディアにも対応すべく、旧本社からの機器も設置しています。

年末の慌ただしい中に移転したということもあり、スタジオレクチャーを受けられないスタッフもおり、当初は使い勝手に不慣れなスタッフからの質問がありましたが、扱いやすさも手伝い、早い時期に質問が減少しました。各スタジオとも設定を同じにした為、LOAD SNAPで設定をリセットできるため、前の人が使用した後、生放送前・収録前の慌ただしさの中等、いちいち設定確認を行わないで済み、安心して使用できるようになったのが何よりも良いです。

今回の移転に際し、計画から導入、設定、制作スタッフ向けレクチャーに至るまで、我々技術スタッフのわがままを一生懸命聞いていただいたSJBのスタッフ様にはこの場をお借りして感謝・御礼申し上げます。